

平成28年6月

# 袋井市議会定例会

## 一般質問通告内容

### 袋井市議会

#### インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています

Yahoo! や Google などの検索画面から

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



(ライブ中継) または  (録画放送) をクリック

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

# 一般質問通告議員

6月14日（火）午前

| 質問順序 | 質問形式 |         | ページ   |
|------|------|---------|-------|
| 1番   | 一括   | 寺井紗知子議員 | ・・・ 1 |
| 2番   | 一問一答 | 大石重樹議員  | ・・・ 2 |
| 3番   | 一括   | 山田貴子議員  | ・・・ 3 |

6月14日（火）午後

|    |      |        |       |
|----|------|--------|-------|
| 4番 | 一問一答 | 高橋美博議員 | ・・・ 4 |
| 5番 | 一問一答 | 戸塚哲夫議員 | ・・・ 5 |
| 6番 | 一括   | 岡本幹男議員 | ・・・ 6 |

6月15日（水）午前

|    |      |        |        |
|----|------|--------|--------|
| 7番 | 一括   | 秋田稔議員  | ・・・ 8  |
| 8番 | 一括   | 寺田守議員  | ・・・ 10 |
| 9番 | 一問一答 | 伊藤謙一議員 | ・・・ 11 |

6月15日（水）午後

|     |    |        |        |
|-----|----|--------|--------|
| 10番 | 一括 | 高木清隆議員 | ・・・ 13 |
|-----|----|--------|--------|

|                             |   |      |    |     |        |
|-----------------------------|---|------|----|-----|--------|
| 質問順序                        | 1   | 議席番号 | 20 | 質問者 | 寺井 紗知子 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |   |      |    |     |        |
| 1                           | <b>市の鳥「ふくろう」について</b><br>(1) 袋井宿四〇〇年記念祭に、市の鳥「ふくろう」の史実をより身近にしていく考えは。<br>(2) ふくろうが生息する豊かな自然環境を保全していくためには、どのような対策が必要と考えるか。<br>(3) 「ふくろう」を市の鳥として、認識を深めていくための方策は。 |      |    |     |        |
| 2                           | <b>任期付職員採用による人材確保について</b><br>(1) 臨時的任用職員や非常勤嘱託の登録と採用状況及び待遇についての課題はどうか。<br>(2) 任期付職員制度をどう考えるか。また、その活用についてはどうか。<br>(3) 幼稚園・保育所などの育休代替に、任期付職員の採用についての考えは。      |      |    |     |        |

| 質問順序                            | 2  | 議席番号 | 3 | 質問者 | 大石 重樹 |
|---------------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）      <<一問一答>> |  |      |   |     |       |
| 1                               | <p><b>高齢者福祉施策</b></p> <p>昨年につき、介護予防・日常生活支援総合事業について、ガイドラインの中に示されている「住民主導の通いの場」などについて伺う。</p> <p>(1) 総合事業に完全移行する平成29年度時点の、自治会別（地区別）要支援1及び2の認定者数は何人か。</p> <p>(2) 新しい総合事業に向けての、体制整備はできたか。「通いの場」サービスメニューを検討する中で「通いの場」の利用見込みを検証したと思うが、利用者数はどれくらいと推計したか。</p> <p>(3) 「通いの場」組織の立ち上げ、人材育成などの支援体制は、そして、運営に係る費用など、国が示す基準に基づく補助金などの助成はどのようなか。</p> <p>(4) 介護予防体操は「通いの場」のメニューとして必須と思うが、市全域への普及のためのプレゼンテーションは、どの体操を勧め、誰が、どれくらい行い、これまでに市内の何カ所で始まったか。</p> <p>(5) 現在、取り組みが始まっている活動に対して、どのような支援や指導をしているか。</p>   |      |   |     |       |
| 2                               | <p><b>第2次総合計画施策</b></p> <p>市政は、少子高齢化・人口減少社会に向けて、政策転換期を迎えている。市は、第2次総合計画を最上位計画として、市民一人ひとりが幸せに住み続け、また住んでみたくなるまちを築くため、多岐にわたる分野で、多様な施策を進めようとしているが、以下について伺う。</p> <p>(1) 教育と将来人口及び土地利用施策について</p> <p>ア 袋井市小中一貫教育調査検討部会研究報告書にある児童・生徒数の推移は、どのようにして出したか。また、地区や学校ごとの児童・生徒数の大幅な格差の拡大は、どこに要因があると考えるか。</p> <p>イ 市は、地域ごとに均衡ある将来人口や児童・生徒数を確保するため、若い世代が居住できるよう施策を行うべきであると思うが、どのように進めるつもりか。</p> <p>(2) 地震災害対策について</p> <p>観測史上初めて、震度7を2回記録した熊本地震では、熊本県内5市町の役所・役場が被災して使用できなくなり、庁舎機能を移転する事態になった。災害対策本部が置かれる役所・役場は、災害が落ち着いた後も復興の拠点としての役割が課せられている。本市でも、改めて市庁舎を含めた防災拠点の耐震性をより高め、市民のために、その機能を確実に維持できるよう、被害軽減のための対策が必要であると考えますが、市の見解を伺う。</p> <p>ア 災害対策本部となる市庁舎の耐震対策は万全か。防災、災害復旧・復興の拠点として、優先して見直しを行い、さらに耐震性を高める考えはないか。</p> <p>イ 市庁舎が被災し機能不全に陥った場合、直ちに庁舎機能が代替できる移転先は、公共施設のうちどこを想定しているか。</p> |      |   |     |       |

| 質問順序                        | 3   | 議席番号 | 8 | 質問者 | 山田 貴子 |
|-----------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |   |      |   |     |       |
| <b>1</b>                    | <b>熊本地震から</b><br>熊本県を中心に発生した大地震は甚大な被害をもたらし、いまだに続く余震で被災地の不安は収まらない。1日でも早い終息と被災地の復興をお祈りいたします。熊本地震を踏まえ、当市の地震対策について質問します。<br>(1) 応急仮設住宅用地の建設候補地は十分足りていますか。<br>(2) 仮設用テントは何軒分用意がされていますか。<br>(3) 車中で過ごす場合の駐車場は確保できますか。<br>(4) 避難所運営には女性視点が重要です。どのように考えていますか。<br>(5) 食料供給でアレルギーの子どもや乳幼児にも配慮できていますか。<br>(6) ドローンの使用をどのように考えていますか。<br>(7) 災害救助犬の導入は考えていますか。 |      |   |     |       |
| <b>2</b>                    | <b>学校の施設</b><br>当市の幼稚園や保育所・小・中学校にある施設についてお伺いいたします。<br>(1) 熱中症対策として、ミストシャワーの設置は全校に設置されましたか。<br>(2) 扇風機は、全校に備え付けられたと思いますが、エアコンは、どのようになっていますか。今後の考えをお伺いします。<br>(3) 最近では、男子や男性もトイレは、洋式を常に使用する傾向になりつつあると聞いてますが、その対策としてもっと洋式トイレを普及すべきと思います。また、校舎以外の外トイレ（プールとか）も洋式に変えるべきと思うが市の考えをお伺いします。   |      |   |     |       |
| <b>3</b>                    | <b>茶文化</b><br>松下コレクションを袋井市に譲り受けましたが、最終的には、どのように管理するのかをお伺いいたします。<br>(1) 松下コレクションを浅羽支所に保存し、整理をすると聞いていますが、将来は博物館のような建物を建てる考えがあるのかを問う。<br>(2) 島田市は、県が茶の都の拠点施設として再整備する「ふじのくに茶の都ミュージアム（仮称）」として建物や敷地内の再整備が決まりましたが、当市も茶文化とお茶歴史を強調して県に働きかけ（要望）をしてはいかがでしょうか。  |      |   |     |       |
| <b>4</b>                    | <b>待機児童</b><br>県内「潜在」待機児童数が初公表され、当市でもゼロにはならず、保護者からは厳しい声が上がっています。<br>(1) 入所の選考基準を「はっきりと公表してほしい」「基準を分かりやすくしてほしい」「決め方に疑問がある」など否定的な意見が多く感じますが、市の対応はどうしていますか。<br>(2) 平成29年度の開園に向けて4園新設支援の予定とのことですが、待機児童はゼロになりますか、お伺いいたします。   |      |   |     |       |

| 質問順序                          | 4   | 議席番号 | 1 2 | 質問者 | 高橋 美博 |
|-------------------------------|---|------|-----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>> |   |      |     |     |       |
| <b>1</b>                      | <b>障害者優先調達法に基づく取り組み</b><br>市は、障害者優先調達法に基づき毎年度調達方針を策定し、調達実績も公表している。しかし、その実績は伸びていない。その理由と市の取り組みについて伺う。<br>(1) これまでの取り組みの評価はどうか。<br>(2) 調達実績が伸びない理由をどう捉えているか。<br>(3) 調達実績を伸ばすため新たに取り組んでいることはあるか。   |      |     |     |       |
| <b>2</b>                      | <b>放課後等デイサービスの効果と問題点</b><br>平成24年度から国の制度となり、民間企業などの参入もあって急増している。良い点もある反面、問題点も見受けられる。市内の現状を伺うとともに、市の取り組みについて伺う。<br>(1) 市は放課後等デイサービスを実施する事業者・施設の増加をどう捉えているか。<br>(2) 市内設置施設数、運営事業者、利用人数はどうか。<br>(3) 市内設置施設の支援内容を把握しているか。<br>(4) 市として指導・監査はできないのか。<br>(5) 市独自の加算など改善できる点はないか。 |      |     |     |       |
| <b>3</b>                      | <b>障害児放課後児童クラブの在り方</b><br>放課後等デイサービスと役割が重複する面もあるが、利用は増している。障害児放課後児童クラブは、これまでも重要な役割を果たしており、制度の継続と充実を望む。市の考えを伺う。<br>(1) 市は障害児放課後児童クラブをどう位置付けているか。<br>(2) 今後の利用数の見通しはどうか。<br>(3) 市の支援、関与の在り方をどう考えているか。   |      |     |     |       |
| <b>4</b>                      | <b>多面的機能支払交付金について</b><br>平成26年度から「農地・水保全管理支払制度」が改変され「多面的機能支払制度」がスタートした。市内でも多くの組織が認定を受け交付金を受けている。その運営と市の関与について伺う。<br>(1) 平成27年度から大幅に交付額が増えた理由は何か。<br>(2) 市内の活動組織とその活動内容はどうか。<br>(3) 活動組織から事務処理を委託している磐田用水で「不適切な会計処理」が問題となっていると聞く。市は把握しているか。                                |      |     |     |       |

| 質問順序                          | 5  | 議席番号 | 1 | 質問者 | 戸塚 哲夫 |
|-------------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>> |  |      |   |     |       |
| <b>1</b>                      | <b>障がい者支援について</b><br>第2次袋井市総合計画・前期基本計画がスタートした。政策2 取組4 では「自分らしく暮らせる障がい者支援の推進、障がいのある人が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる環境を整備する」としている。<br>(1) 障害者優先調達法施行に伴い、市は受注実績を上げるためにどのような対応をしてきたか。今後どう取り組んでいくのか。<br>(2) 就労支援施設の農業分野への参入について市の考え方、方針は。<br>(3) 「障害者差別解消支援地域協議会」設置の考えは。           |      |   |     |       |
| <b>2</b>                      | <b>組み体操問題について</b><br>組み体操事故が4年連続で8,000件を超えている。スポーツ庁、県教育委員会が安全性に配慮して実施するよう市町教育委員会に要請した。<br>(1) 要請を受けて、方針決定までどのように取り組んだのか。<br>(2) どのような方針としたのか。  |      |   |     |       |
| <b>3</b>                      | <b>袋井市南部の主要幹線道路の整備について</b><br>平成25年6月議会の一般質問から3年を経過。この3年の整備取り組み状況と現状の課題を整理する。<br>(1) 国道150号B Pルート決定に向けてのこの3年間の取り組み状況、今後の見通しは。<br>(2) (一) 磐田掛川線改良事業は、浅岡地内も継続して取り組まれるのか。<br>(3) 浅岡交差点に架かる歩道橋の安全点検、修繕の予定は。<br>(4) 浅羽北小児童の登校時における安全確保の観点から、現在の東西歩道橋にあわせて、南北に歩道橋が設置できないか。 |      |   |     |       |

|                             |  |      |   |     |       |
|-----------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問順序                        | 6  | 議席番号 | 2 | 質問者 | 岡本 幹男 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |  |      |   |     |       |
| <b>1</b>                    | <p><b>耐震対策について</b></p> <p>熊本地震の被災状況の報道を検証すると、東日本大震災とは違う内容の耐震対策の重要性を再認識させられた。そこで、袋井市の耐震対策に関連して次の3点について伺う。</p> <p>(1) 熊本地震は断層活動による被災が大きな特徴となっている。建物の倒壊も存立する地盤の崩壊に起因している例が多い。国や熊本県による原因把握や、メロンサミットで縁のできた宇城市を通じて、今後の情報収集の方針はどうか。</p> <p>(2) 袋井市の昭和56年以前の木造住宅耐震補強工事に係る補助額の上限は、平成28年度より、一般世帯が90万円より60万円に、高齢者・障害者世帯等が110万円より80万円に、それぞれ30万円ずつ減額となった。2月議会の予算審議を経たものではあるが、熊本地震の建物被害の深刻さを踏まえ、見直す必要性はないか。また、本件に関し、庁内合意の形成や、議会に対する説明に問題はなかったか。さらに、平成12年以前の木造住宅への対策は、熊本地震の実状をふまえ、変更の必要性はないか。</p> <p>(3) 熊本地震でも益城町を中心にブロック塀の倒壊事例が多く報告されている。津波避難困難地域のブロック塀等の耐震化の確保はどこまで進捗しているか。袋井市のブロック塀等耐震改修促進事業費補助金は、撤去事業、改善事業ともに津波避難困難地域に一定の優遇をしている。ところが、津波避難困難地域を国道150号以南に限定しているため、自治会連合会単位の対策に困難をきたしているとの地元の声がある。太郎助地区や西同笠地区の一部などを含めた地域も対象となる見直しができないか。</p> |      |   |     |       |
| <b>2</b>                    | <p><b>道路整備について</b></p> <p>道路整備は市民の生活に直結するためその要望には強いものがある。ところが、一方で財源等の制約のため進捗が思うようにいっていないのも事実である。これに関連し、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 袋井市道路整備10箇年計画（後期計画）は平成27年度までのため現在1年の延伸をし、平成28年度中に新たな10箇年計画を策定する予定と聞いている。この中で、市道東同笠油山線の南部工区は、従来150号までの整備計画となっているが、東同笠地区住民の避難路となっていること及び防潮堤工事の土砂搬送路となっていることから、市道湊中新田浜道線までを次期計画の整備対象区間とすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 市道湊中新田線は現在湊地区で整備工事実施中であるが、進捗ははかばかしくない状況である。整備ができた湊中地区は児童の通学路に歩道の確保ができたが、未整備の湊西地区の児童は、歩道のない自動車同士のすれ違いに困難な狭い旧道を通学路としている。また、湊東地区にも歩道のない未整備区間が残っている。原田市長の平成28年度施政方針にも本件道路整備がうたわれているが、今後の整備工事の進め方について伺う。</p>   |      |   |     |       |



|                             |  |      |   |     |       |
|-----------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問順序                        | 6  | 議席番号 | 2 | 質問者 | 岡本 幹男 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |  |      |   |     |       |
|                             | <p>(3) 袋井市内児童生徒の通学路に草が繁茂し自転車の運行に支障をきたす事例や、横断歩道の白線標示が消えかかり目視が困難な事例が多く見受けられる。市道のみならず、国道・県道を含め通学路の安全確保の観点から、一定の確認のルール付けが必要と考えるがどうか。</p>   |      |   |     |       |
| <b>3</b>                    | <p><b>文化的資産の掘り起しについて</b></p> <p>文化的資産の掘り起しは、地域の活性化にも大きく寄与することは最近の浜松市を中心とした直虎現象でも明らかである。そこで、これに関連し、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 梅山地区の浅羽佐喜太郎公記念碑は、平成30年に建立100周年を迎える。その前年の平成29年は、浅羽佐喜太郎とファン・ボイ・チャウの生誕150年の記念の年となる。最近では同記念碑を訪れるベトナムの人は要人から若い人まで様々な階層に及び増加している。記念事業に向けての体制整備を行う必要があると考えるが方針を伺う。</p> <p>(2) 袋井市幸浦の丘プロジェクトに関連し、地曳網漁が盛んであったことや、地曳網船による伊勢参りがかつて行われていたことを文化的資産として掘り起こす必要があると考えるがどうか。</p> <p>(3) 幸浦地区には江戸時代末期に唐人船が漂着し地元民が3カ月にわたり接待したという歴史がある。これも、文化的資産として掘り起し、幸浦の丘への記念碑の建立や、外国船救助の歴史ある関連市町との交流促進などに生かせないか伺う。</p> |      |   |     |       |

| 質問順序                          | 7  | 議席番号 | 17 | 質問者 | 秋田 稔 |
|-------------------------------|--|------|----|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b> |  |      |    |     |      |
| <b>1</b>                      | <b>成年後見人制度の現状</b><br>2000年度に始まった制度、年々利用者増だが、制度スタート以後、司法書士や弁護士が被成年後見人の財産を着服する事件が多い。<br>(1) 本市での成年後見人制度利用への取り組みについて、どう対応、支援、指導をしているか。<br>(2) 高齢化一人暮らしの世帯が多くなる。早い時期での指導が必要だと思う。<br>(3) 問題事例の早期把握に向け、関係機関との連携をどう取り組むか。   |      |    |     |      |
| <b>2</b>                      | <b>高齢者福祉施設</b><br>白雲荘は開設から38年経過。これからの維持、対応、関連して公民館とのコミュニティセンター化に向けての当局の考え方は。<br>(1) 昨年3月策定の「袋井市長寿しあわせ計画」の中で、今後施設のあり方について検討していくと記述されている。どのような検討をしましたか。抜本的に大規模修繕を行い、本施設を維持していく考えですか。<br>(2) 耐震工事は約9年前に終わっているが、施設のガラス飛散防止対策は済んでいますか。防災対策の面から見ると各所に不備な所が多い。これらの対応はどう考えていますか。<br>(3) 現在、公民館のコミュニティセンター化を進めているが、今後こうした施設はどのような位置付けをされていくか。一部の公民館では高齢者の居場所作りが進められている。白雲荘の役割を果たす施設やその機能も、今後このコミュニティセンターに移行していく考えですか。 |      |    |     |      |
| <b>3</b>                      | <b>小型無人機ドローンの活用</b><br>本年度予算で本市もドローンを購入していくが、今後の対応について伺う。<br>(1) 市内の飛行禁止空域外と空域内のすみ分けは現状どう判断するか。飛行禁止空域に当たる所は、国土交通省に許可を必要としないといけないのではないですか。<br>(2) 市内の観光地のPRを上空から撮影してはどうですか。<br>(3) 上空からのパトロールにて不法投棄の摘発や防止に活かしては。<br>(4) 市内山間部の監視は防犯等の対応に有効だと思うがどうですか。<br>(5) 大規模農家に活用のため、支援、指導を進めては。<br>(6) 有効活用について関係団体との連携、協議の場を設け、行動指針を早く策定し、他市に先駆けた取り組みを実施してはどうでしょうか。   |      |    |     |      |
| <b>4</b>                      | <b>農業用ため池の取り組みについて</b><br>本年4月12日農水省より全国緊急調査結果が公表された、袋井市内のため池の現状について伺います。<br>(1) 市内農業用ため池、その他のため池は何カ所ありますか。<br>(2) 国からの指導で対応した結果はどうでしたか。<br>(3) 危険なため池の改修計画は今後どう進めていくか。  |      |    |     |      |

|                               |   |      |    |     |      |
|-------------------------------|---|------|----|-----|------|
| 質問順序                          | 7   | 議席番号 | 17 | 質問者 | 秋田 稔 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） <b>《一括》</b> |   |      |    |     |      |
|                               | <p>(4) 改修済みのため池、改修前と比較してどう変わったか。改修工法はどうでしたか。</p> <p>(5) 市内各所のため池の現在の維持管理等がどう行われているかお伺いをします。</p> |      |    |     |      |

| 質問順序                        | 8   | 議席番号 | 7 | 質問者 | 寺田 守 |
|-----------------------------|---|------|---|-----|------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |   |      |   |     |      |
| <b>1</b>                    | <b>生活道路の整備</b><br>生活道路は地域の住民が日常的に利用している道路であり、安全性、利便性、また将来を考えた整備が求められる。これを円滑に進めるため、建築基準法による規制やブロック塀の耐震化助成制度などが設けられているが、適正な行政的指導が行われているか伺う。<br>(1) 市は地震により倒壊する危険性のあるブロック塀の撤去をブロック塀耐震化助成制度の促進を図りながら進めているが、安全性を満たさないブロック塀の新設に対してどのような指導を行っているか。また、建築基準法で道路後退が義務付けられている土地について、将来の支障にならないよう指導されているか伺う。<br>(2) 道路整備に伴い用地の確保が求められていても、相続によって地権者が多数かつ遠方に及ぶ場合があり、全員の合意を取り付けるには時間がかかる。課題解決のため、市の体制はとれているか。 |      |   |     |      |
| <b>2</b>                    | <b>第一三共跡地の開発</b><br>昨年末、第一三共跡地が更地に整備された。市長は今年度方針の中で「土地利用促進支援を行う」と述べているが、現在の進展状況を伺う。<br>(1) 市長は進出する企業について、工業系よりも商業系企業が望ましいと期待感を示されていたが、その可能性はどうか。<br>(2) 東名袋井 I C は、道路での袋井の玄関口でもある。遠州三山や近隣市町に通ずる窓口であり、それにふさわしい開発について話し合っているか。<br>(3) 市の景観計画によれば、建築物及び高さの最高限度を20mと定めている。これは状況によっては特例により、適用を除外する考えはあるか。<br>(4) 現行の「工業地域」でも用途的には、住宅建設は可能となっている。開発によっては地域に大きな変化が生じることになるが、どのように考えているか。               |      |   |     |      |
| <b>3</b>                    | <b>総合体育館のアクセス道路</b><br>総合体育館建設計画では、近接道路の整備計画は示された。近隣市町、市主要施設をつなぐアクセス道路について伺う。<br>(1) 総合体育館の駐車場からは450台以上の車両が出入りすることになる。周辺の道路の渋滞の可能性は調査されたか。<br>(2) 総合体育館の玄関前の道路は、大型車両にとっては一方しか出入り口がない。また国道1号線バイパス久能 I C、市役所、今後建設される（仮称）防災センターとのアクセスも重要となる。これらを結ぶ動線をどのように考えているか。  |      |   |     |      |

|      |   |      |   |     |       |
|------|---|------|---|-----|-------|
| 質問順序 | 9 | 議席番号 | 4 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|------|---|------|---|-----|-------|

質問事項・要旨（具体的な質問事項）      <<一問一答>>

**1 本市の国際化（グローバル化）に向けて**

膨らむ海外観光客のインバウンド需要、メロンを中心とした農産物の海外輸出、2019年ラグビーW杯・2020年のオリンピックでの「おもてなし」と「民泊事業」、また、小学校での英語教育の必修化など本市を取り巻く環境や、本市の行う政策は確実に以前よりグローバル化が進み、また、今後もこの分野に更なる政策が求められると感じる。一方で、本市と交流を結ぶ海外都市や国とは例年多くの交流事業がもたれておるし、市内在住の外国人の方々を対象に多くの多文化共生事業が展開されている。将来のスポーツイベントやボーダレス社会を考えれば、市民の国際性の醸成という意味で、今後ますますなくてはならない事業であると考えているが、来年は市長・市議ともに改選期になるため、今一度市の方向性を知る意味で以下を問う。

(1) 本年最新の5月1日の本市の人口統計において、本市居住の外国人の数は3,237人であり、これまでの傾向をみても増加の傾向である。本市の多文化共生の考え方について以下を問う。

ア 市内において生活する多くの外国人の方がいる。しかし、彼らに行政サービスを提供する上で、外国人居住者との言葉の壁は現状非常に大きい。対応を考える上で、本市の対応可能な外国言語及び職員の数を問う。

イ 上記の課題も含め、日常生活や災害時におけるやさしい日本語の普及を提案するがいかがか。

ウ 本市において自治会は住民ネットワークの基礎たるものであり、その役割が果たす事は非常に大きい。しかし、外国人居住者の自治会加入は総じて低く、市内での外国人ネットワークやコミュニティは、現状不明な点が多いと感じているが行政の認識はいかがか。今後の災害・避難所運営への備えや、協働の取り組みに向けて一度調査を提案するがいかがか。

エ 本年5月22日、本市とシティプロモーション事業でゆかりがある株式会社はまぞうがアジアミュージックフェスティバルを行い、国内外多くのアーティストを招集し盛況を収めた。シティプロモーション及び外国人の方との共生をPRするため、次回開催を本市のエコパでの開催誘致を提案するがいかがか。

(2) 本市は多くの海外都市や国と現状交流を持っている。幾つかの点を以下に問う。

ア 本市と姉妹都市提携を結ぶアメリカオレゴン州のヒルズボロ市とは、本年で交流28年目を迎える。これまでホームステイ事業を中心に行ってきた背景もあり、本市で現在プロポーザルを募集している民泊事業に対して大きなビッグデータとなると共に、今後ヒルズボロの学生が来袋する際には、将来行う民泊事業へのトライアルにもなり得ると考えるが、今後本事業を積極的に支援する考えはないか伺う。また、まもなく交流30周年を迎える両市だが、この節目の年をどのように考えるか伺う。

イ 浅羽佐喜太郎氏とファン・ボイ・チャウ氏との友情や、浅羽ベトナム会と袋井商工会議所の活動、そして、新しくは本市のワンコイン・スクール事業を通して友好を深めている本市とベトナムであるが、今後の交流の方向性を伺う。

|                               |   |      |   |     |       |
|-------------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問順序                          | 9   | 議席番号 | 4 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一問一答>> |   |      |   |     |       |
|                               | <p>(3) 本年度の英語教育の取り組みについて以下を伺う。</p> <p>ア 本年の8月、本市の小学校5・6年生を対象としたイングリッシュ・デイキャンプが開催される。募集チラシの目的には、2019年ラグビーW杯に向けてまちの国際化を目指すとあるが、本事業の位置づけと2019年までの事業フローを英検支援事業と関連して伺いたい。</p> <p>イ 本市は中学生を対象に英語スピーチコンテストを行っていると認識しているが、上記の質問と関連してこの事業をどのように考えているか伺う。</p> |      |   |     |       |

| 質問順序                        | 10  | 議席番号 | 11 | 質問者 | 高木 清隆 |
|-----------------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項）    <<一括>> |   |      |    |     |       |
| <b>1</b>                    | <b>入札制度について</b><br>公共事業の施行時期の平準化への取り組みと地域インフラを支える事業所の育成・確保が重要。<br>(1) 「ゼロ債務負担行為」の導入を検討する考えはあるか。<br>(2) 地域インフラを支える事業所を確保するための入札制度の導入が必要と考えるが。                                |      |    |     |       |
| <b>2</b>                    | <b>袋井市地域防災計画におけるアスベストリスクについて</b><br>災害時対応におけるアスベストリスクへの認識を高めることが必要。<br>(1) 災害時における、アスベスト飛散防止対策を記載すべきと考えるが。  |      |    |     |       |
| <b>3</b>                    | <b>健康づくり・筋力減弱症対策について</b><br>筋力減弱症状の軽減に向けた取り組みが必要。<br>(1) 健康寿命延伸に向けて、サルコペニア診断を活用すべきと考えるが。<br>(2) 転倒減に向け、日本老年学的評価研究を活用する考えは。  |      |    |     |       |
| <b>4</b>                    | <b>中高校生の居場所づくりについて</b><br>中高校生に対する、サポート事業の拡充が必要。<br>(1) 非行に走った要因は、また更生に向けた手だてについて。<br>(2) 楽しさやチャレンジを含んだ非形式的な学習活動の導入は考えられるか。<br>(3) 家庭・学校・近隣地域以外の第4となる中高校生の「居場所」づくりが必要と考えるが。 |      |    |     |       |